

# 山麓探偵団通信

9&10月

猛暑を乗りきられた探偵団のみなさん、ほんとうにおつかれさまでした。富士山麓も、連日27℃前後の気温で、普段エアコンのない暮らしをする者には、つらい夏でした。

さて、待ちに待った九月の探偵団は、長雨の合間の晴れで、幸い天候に恵まれ、なんとタープなしの、まさに野宿を体験して、全員けがもなく無事に帰着しました。

沢や滝をものともせずに足をすすめる、当日の計八名の動画を见まして、あらためて山麓探偵団の实のある一五年間を实感しております。

## ■戸高雅史団長の講評

今回は、二年ぶりの場所です。火を焚くことができませんでした。いつも、こういうわかりにくい世界を、周りの人たちに伝えるにはどうしたらいいのか、考えておりますが、探偵団活動では、こういう場を共感できる仲間がいるという実感を得ます。ルール化しない過ごし方の中で、互いの気もちや行動を思いやって自ら動けるのは、すばらしいと思えました。

## ◆参加者の感想

M・こういう楽しみ方を知ると、いろんな物が要らなくなるという感じがわかりました。自然の中で生かされるへありがたうを、多くの人に伝えたい。



沢たびを履いて慎重に沢登り



N・やっと念願かなって参加でき、大満足です。夜中三時の星を見て、最近関心を持っている古代

人のセンサーや心境を、身近に感じました。

S・言葉にならない二日間でした。滝に入り、ひとつ扉を開けたら、次の扉があったような心境です。

I・今回はタープがなかったのので、生まれてはじめての野宿を体験し、いつも以上に天然の気もちになれました。水の音が印象的でした。

H・久々のビバークで、沢の音を聞き、仲間の釣った四匹の小さな魚を、みんなで分け合って食べたのもいい思い出でした。

T・いつもよりスタートが早かったの、ゆったりできました。ほぼ何も考えず、娑婆と沢との境目を、スムーズに往復できるようになつたと思います。

J・戸高さんに、基本的な山の登り方をはじめ教わって、よかった。人間の言葉の発生を考えると、言葉以前に人間が交信し合っていたもの、言葉に置き換える前のセンサーを大事にしたいと思えます。

## ◎お知らせ

来る十月三日(土)と翌週の十日(土)の二回、NHK総合テレビの午前九時三十分から二十五分

間、「助けて きわめびと」という番組に戸高雅史さんが出演になります。全国放送ですので、お見逃しになりませんように。

## 第242回「探偵団活動」案内

### へ紅葉の奥庭散策

伊藤浩美映像カメラマンを団長に、富士山の五合目奥庭を味わう一日、ぜひともご一緒しましょう。

◇ ◇

開催日 十月二十九日(木)

集合 午前九時に「富士吉田道の駅」

参加費 一八〇〇円(ガイド料・保険料含) スバルライン

は十一月まで平日無料です。

持ち物 昼食・マイカップ・防寒着・雨具・任意でウォーキングポール、ポケット図鑑など。

\* 問い合わせ・申し込み(三日前まで)は、メールか電話で、左記の事務局までお願いします。

発行 山麓探偵団 事務局

山梨県山中湖村平野一六九八

電話 〇五五五・六五・七〇二三